



筑紫路

発行
自衛隊福岡病院
春日市小倉東1丁目
61番地
Tel. 092-581-0431
ホームページ



病院長着任の挨拶



自衛隊福岡病院長
兼春日駐屯地司令
陸将補 森 知久

この度の異動で、第二十六代自衛隊福岡病院長兼春日駐屯地司令を拝命した森陸将補です。

日本を取り巻く安全保障環境がより厳しく変化し、不確実性が増す中、有事の際九州における衛生支援態勢の要となるこの自衛隊福岡病院で病院長の職を拝命することは、大変光栄であると同時に、その責務の重さに身の引き締まる思いです。

さて、昨年の十二月に所謂安保関連三文書が策定されました。自衛隊衛生につきましては、これまで自衛隊員の健康性の維持を重視してきましたが、これからは有事において危険を顧みずに任務を遂行する隊員の生命・身体を救う組織に変革することが求められています。それは自衛隊福岡病院も同じであり、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るよう人材を育成するとともに、病院の建て替え等により戦傷医療能力を向上させ、自衛隊衛生の統合的な運用に寄与する態勢を構築していかねばなりません。

着任にあたり、この「衛生機能の変革」を確実に実行していくため、統率方針として『変革の実行』を掲

げ、それを具現化するために以下の2点を職員に要望しました。

その第一は、「継承と発展」であります。歴代病院長をはじめとする諸先輩方がリーダーシップを発揮され目指してきた病院の理念「自衛隊における九州の基幹病院として、隊員はもちろん国民に信頼される病院を目指す」を引き続き病院の本質的な価値とし、自衛隊福岡病院の良き伝統を継承しつつ、人的戦闘力の維持・増進を担う九州の基幹病院として、また地域住民の診療を担う保険診療機関として、外傷診療能力の向上等時代のニーズに合わせた変革を行い、更なる発展を遂げられるよう、「継承と発展」を常に念頭に置き、患者第一主義、科学的根拠に基づいた質の高い医療の提供に邁進していきたいと思っております。

その第二は、「自覚と研鑽」であります。自衛隊衛生が目指す「有事において危険を顧みずに任務を遂行する隊員の生命・身体を救う組織」の具現化、戦傷医療能力の向上に対応するため、職員一同隊員の生命を守る衛生科隊員として、また、自衛隊における九州の基幹病院の勤務員として、担うべき役割を自覚し、プロとしての自律性を持つためまめ研鑽を行い、自らの識能を向上させるとともに、部隊等の衛生科隊員を育み、もって衛生支援態勢・体制の実効性向上に寄与してまいります。

以上、着任に当たり所信の一端を申し述べましたが、改めて自衛隊福岡病院が南西における自衛隊衛生の今と未来を支えるとの気概

副院長上番挨拶



自衛隊福岡病院副院長
兼企画室長
1等陸佐 森西 洋一

この度、一月二十一日付で副院長兼ねて企画室長・建替準備室長を拝命しました森西一佐です。

今年六十八周年を迎える伝統ある当院の舵取りの一端を担うことになり大変光栄に感じております。

当院は西部方面隊における中核型基幹病院および地域医療に貢献する保険医療機関として、多岐にわたる任務にあたってきました。三年余にわたるコロナ禍は一区切りを迎えたものの、院内感染対策の手を緩めることなく安心・安全な診療態勢を維持することに変わりはありません。また、病院建替事業の再本格化も迎えました。同時並行的に進めるべきことが確実に増えています。

厳しい状況を連ねましたが当院職員を見渡せば頼もしい方ばかり。芸人コロケさんのお母様の教えである「あおいくま」、あせるな・おこるな・いばるな・くさるな・まけるな。子育て以外でも通用するこの教えを私は気に入っています。患者

吉積将補退官挨拶



陸 将 補
吉 積 司

定年退官を迎えて

令和五年一月二十一日、晴れやかに定年退官の日を迎えることができました。三十六年近くの勤務を終え、ほっとする気持ちと最後まで勤務できた喜びをかみしめています。

自衛隊福岡病院は、初任実務研修を終えて初めて赴任した病院であり、私にとって原隊と思っております。また、退官を迎える最後の勤務地でもあり大変感慨深いものを感じています。これまで五個方面隊すべての方面隊で勤務し、また六ヶ所の自衛隊病院に勤務しました。この間、病院勤務のみならず、旅団司令部や方面衛生隊、また方面総監部と様々な職場で自衛隊医療に従事でき、自衛隊医官として貴重な経験を積み重ねていただきました。中でも、国際貢献活動としてイラク復興支援群に参加したことや災害派遣活動として、被災しながら東日本大震災、熊本地震や北海道胆振東部地震での医療活動に貢献できたことは、生涯の財産となっています。

素晴らしい先輩方や何でも相談できる同僚、優秀な後輩たちに恵まれて、多くの方々の支えがあり、無事任務を終えることができました。あらためて、これまでお世話になった皆様に感謝申し上げます。

退官後は福岡県南部のお茶で有名な八女市にある公立八女総合病院に勤務し、外科医としてだけでなく総合医として地域医療に貢献したいと思っています。今後は自衛隊OBとして、自衛隊福岡病院の皆様を外から応援したいと思っていますので、今後ともよろしくお願い致します。

総務部長上番挨拶



自衛隊福岡病院総務部長
2等陸佐 笠置 剛

令和五年三月十三日付で自衛隊福岡病院総務部長を拝命しました笠置二佐です。

自衛隊福岡病院の強固な院務運営基盤を確立するため全力で業務に取り組みます。皆様のご支援ご協力のおかげで誠にありがとうございます。



西部方面防衛衛生集合訓練

令和五年二月二十二日、方面隊内の衛生科部隊の運用及び隊員の識能向上に寄与するため、西部防衛衛生集合訓練を担任し実施しました。当日は方面総監から訓話をいただき、参加者の士気も向上するとともに「南西地域の医療について」を訓練テーマに沖縄県立八重山病院の竹島茂人氏より教育講演「日本最西端に位置する八重山諸島の救急医療について」及び自衛隊那覇病院院長小池一佐より「当院の使命を考えると過去から将来へ」について特別講演をいただいた。また、訓練テーマである「南西地域の医療について」講師五名による指定講演により、陸海空の衛生支援体制について発表いただきました。



看護部

令和五年三月四日に防衛医科大看護学校看護学科を卒業し、三月六日付で、七名の新卒が明るく元気に着隊しました。第四後方支援連隊のご支援のもと、履修前教育を行い、不安を抱きつつも、使命感をもって四月三日より、幹部候補生学校に入校しました。五月二十四日に卒業予定です。より逞しく成長して戻って参りますので、今後ともよろしくお願いたします。

准看護卒業式

准看護学院（学院長・山元二佐）は、令和五年三月一日、西部方面総監部医務官 岩本一佐、西部方面衛生隊長 品川一佐のご臨席を賜り、川口病院長の立会いの下、卒業式を挙行了しました。第四十六期学生二十五名は、多くの病院関係者に見送られ、救急救命士課程や北は北海道から南は沖縄まで全国各地の部隊に巣立って行きました。



祝！#6着隊
戦闘訓練にて

お知らせ

防衛省を退職されたみなさまへ、防衛省から発信されております「特定秘密等漏えい事案に係る再発防止」についてお知らせ致します。防衛省・自衛隊ホームページ内（注目のキーワード）に、「防衛省を退職された皆様へ」を入力検索して頂くと掲載されております。

定年退官者等の紹介

- 《二月二十一日付》
陸 将 補 吉 積 司
- 《二月三日付》
一 等 陸 尉 田 中 晴 彦
- 《二月四日付》
三 等 陸 尉 小 浦 泰
- 《二月二十日付》
陸 曹 長 中 川 原 勝
- 《二月二十三日付》
二 等 陸 佐 松 嶋 尚 子
- 《三月三十一日付》
行（一） 早 田 和 徳
医（一） 塚 元 一 吉
医（二） 川 口 広 美
- 《四月十一日付》
准 陸 尉 信 太 正 勝
- 《四月二十一日付》
三 等 陸 佐 徳 丸 ひとみ

人事往来

新規採用者

- 《四月一日付》
（総務課）
一 等 陸 尉 田 中 晴 彦（再任用）
行（一） 中 園 清 美（再任用）
（管理課）
行（二） 溝 口 浜 三 郎
（放射線技術課）
医（一） 星 本 貴 植
（研究検査課）
医（一） 川 口 広 美（再任用）
医（二） 松 田 由 美

転出者

- 《三月一日付》
診療技術部
（放射線技術課）
二 等 陸 曹 山 口 弘 樹
- 《三月十三日付》
一 等 陸 佐 田 中 宏 史
二 等 陸 佐 山 内 康 彦
精神科部長
二 等 陸 佐 榎 本 真 悟
企画室
三 等 陸 佐 田 脇 涉
（総務課）
三 等 陸 佐 平 倉 紀 夫
大 崎 裕 貴
（管理課）
三 等 陸 佐 藤 坂 芳 雄
（会計課）
三 等 陸 曹 浦 上 あ かね
診療科
准 陸 尉 藤 坂 芳 雄
看護部
三 等 陸 佐 木 城 曾 井 美 穂 子
一 等 陸 尉 高 島 有 紀 子
二 等 陸 尉 加 藤 憲 彰 星
三 等 陸 尉 眞 新 屋 奏 子
三 等 陸 尉 山 田 雅 恵 里 菜
三 等 陸 尉 野 田 雅 樹
准看護学院
二 等 陸 曹 竹 本 翔 一
《三月三十日付》
病院長 陸 将 補 川 口 雅 久
整形外科部長兼看護学院院长 山 元 浩 治
《四月一日付》
事務官
（総務課）
行（一） 戸 高 あ ゆ み
（会計課）
行（二） 江 口 和 則
（医事課）
行（一） 柳 原 浩

転入者

- 《三月十三日付》
総務部長
二 等 陸 佐 笠 置 剛
企画室
三 等 陸 佐 田 石 島 健 二
一 等 陸 尉 田 悠 輝
（総務課）
二 等 陸 佐 江 島 正 美
准 陸 尉 久 保 田 章 功
二 等 陸 曹 崎 岡 仁 志
（管理課）
陸 曹 長 吉 田 泰 之
（会計課）
三 等 陸 曹 丸 山 圭 一
衛生資材部
（薬剤課）
一 等 陸 曹 川 筋 秀 樹
看護部
三 等 陸 佐 石 井 樹 理
三 等 陸 佐 吉 田 隆 二
一 等 陸 尉 松 尾 枝 里
二 等 陸 尉 太 田 香 織
一 等 陸 尉 松 尾 愛 梨
二 等 陸 尉 秋 徳 朋 美
二 等 陸 尉 執 行 優 利 花
診療科
二 等 陸 曹 小 椎 尾 亜 希 枝
准看護学院
三 等 陸 佐 川 本 睦 美
二 等 陸 曹 米 本 睦 美
《三月三十日付》
病院長 陸 将 補 森 知 久
《四月一日付》
事務官
（総務課）
行（一） 大 塚 智 博
行（二） 神 戸 里 紗
（会計課）
行（一） 甲 斐 恵 里 香
（医事課）
行（二） 槌 谷 なる み